

平成30年度 公民科「政治経済」SYLLABUS

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 第3学年 特別進学クラス国立文系コース
教科書	詳説 政治・経済 (山川出版社)	副教材等	2017年度版 最新図説 経済 (浜島書店)

1. 学習の到達目標

- ①広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解している
 ②現代における政治、経済、国際関係などに関する諸課題について主体的に考察できる
 ③公正な判断力を持ち、良識ある公民として必要な能力と態度を持っている

2. 学習の計画

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
前 期	4	第1部 現代の政治	第1章 民主政治の基本原則	政治とは何かについて考え、権力の正統性として法治主義の考えを理解する。 自然権思想や社会契約説について理解し、国民主権の原則がどのようにして生まれたのかを考える。 民主主義の基本原則である基本的人権の尊重、法の支配の原則について理解する。 権力分立の原則や議会制民主主義について理解する。また、権力集中制について考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・模造紙発表 ・ノート提出 ・定期考査
	5		第2章 日本国憲法と民主政治	世界のおもな国々の政治体制について理解する。 近代国家の憲法として大日本帝国憲法が誕生した、その政治体制について理解する。 日本国憲法の制定過程について理解し、三大原則がどのようにして制定されたかを知る。 人権の保障と個人としての尊重について知る。 自由権的基本権の内容について知る。 社会権が誕生した経緯とともに、生存権としての諸権利について知る。 社会の変化とともに主張されてきた新しい人権の内容を理解する。	
	6	第3章 日本の政治制度	日本国憲法第9条が規定している戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認について理解する。 国会の仕組みや権限、衆議院の優越、国会の種類、国会議員の特権などについて理解する。 議院内閣制の仕組みや内閣の権限、内閣総理大臣の権限、行政の拡大などを理解する。 司法権の独立や公正な裁判を実現するための裁判の仕組みに関して理解する。 地方自治の本旨や地方自治のシステム、直接民主制について理解する。		
	7	第4章 現代日本の政治	現代政治における政党の役割や選挙制度の課題について理解する。 現代政治における選挙制度の仕組みや国民の意思が正しく反映される制度について理解する。 現代の政治においてマスコミが大きな影響力を持っていることを知る。		
	9	第5章 現代の国際社会	国際法の成立や国際司法機関、人権保障の国際的な動きなどを時系列に認識する。 国際政治の動向とそれを動かす要因を研究し、多極化した世界と国際平和の課題を追求する。 国際連合などの国際組織が成立した経緯や役割を理解し、またその課題を追求する。 前後の日本外交の歴史を知り、現在の日本外交の課題を理解する。		

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
後 期	10	第2部 現代の経済	第1章 経済社会の変化	資本主義経済の原則や寡占化, 政府の役割の増大など, 資本主義経済の変容について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・模造紙発表 ・ノート提出 ・定期考査
			第2章 現代経済の仕組み	<p>家計・企業・政府が現代の主要な経済主体であることを知り, それぞれの役割について理解する。</p> <p>市場経済における価格メカニズムについて理解する。</p> <p>消費者物価や企業物価概念を理解し, 日本の物価の長期的な動向を理解する。</p> <p>経済成長と景気の安定が国民福祉の向上につながるということを理解する。</p> <p>財政の機能について理解し国が行う財政が国民生活と大きな関係があることを知る。税制度の基本を理解する。</p> <p>金融の仕組みや金融機関の働きについて理解する。</p> <p>日本の中央銀行である日本銀行の機能, おもな金融政策について理解する。</p>	
	11	第3章 日本経済の発展と国民福祉の向上	<p>日本経済の成長を, 戦後復興期・高度経済成長期・安定成長期・最近の経済情勢にわけて理解する。</p> <p>日本の産業構造が変化していることを知り, さらに, 中小企業と大企業との格差を理解する。</p> <p>戦後の日本農業の変化を理解し, 農産物輸入自由化や農家経営の問題についても理解する。</p> <p>労働問題と労働運動の歴史および現在の日本の労働環境の変化について理解する。</p> <p>イギリスやドイツ, 日本の社会保障の歴史を理解し, 日本の社会福祉の課題を考える。</p> <p>消費者問題に関する基本的な事項を理解し, 消費者の自己責任についても理解する。</p> <p>公害問題や環境保全対策にはどのようなものがあり, どのように変化してきているのかを理解する。</p>		
	12		第4章 国際経済の変化と日本	<p>保護貿易と自由貿易の考え方の違い, それに対する国際経済の現状を理解する。</p> <p>国際協調の必要性和国際経済機関の役割を理解する。</p> <p>経済のグローバル化, 地域的経済統合, NIESと中国の経済成長を理解する。</p> <p>地球規模で広がる環境問題について, 地球温暖化を中心に考え, 国際社会の対応を理解する。</p> <p>発展途上国への経済援助など国際経済における日本の役割について理解する。</p>	

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	現代の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め, 意欲的に課題を追究し, 社会的事象を総合的に考え民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加, 協力する態度を身に付ける。
思考・判断・表現	政治・経済事象の本質や人間としての在り方について広い視野に立って考察するとともに, 社会の変化や様々な立場, 考え方を踏まえ公正に判断し, その過程や結果を適切に表現する。
資料活用の技能	政治・経済の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し, 有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。
知識・理解	政治・経済の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や, 学び方を理解し, その知識を身に付けている。

4. 評価法

日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習や模造紙発表で資料活用の技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。

5. 担当者からのメッセージ

インターネットや新聞・ニュースなどのマス・メディアなどを活用して、わかりやすい事例を提示できるように心がけたい。